

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公表番号】特表2000-504087(P2000-504087A)

【公表日】平成12年4月4日(2000.4.4)

【出願番号】特願平9-526826

【国際特許分類第7版】

F 1 6 F 15/02

F 1 6 F 7/08

【F I】

F 1 6 F 15/02 C

F 1 6 F 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月23日(2003.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成 年 月 日
15.10.23

特許庁長官殿

1. 事件の表示 平成9年特許願第526826号
2. 補正をする者
名 称 ハネウエル・インコーポレーテッド
3. 代理人
識別番号 6462
100064621
郵便番号 100-0014
住 所 東京都千代田区永田町2丁目4番2号
秀和溜池ビル8階
山川国際特許事務所内
電話 03(3580)0961(代表)
氏 名 山川 政樹

4. 補正対象書類名 請求の範囲
5. 補正対象項目名 請求の範囲
6. 補正の内容 請求の範囲を、別紙の通り補正する。



請求の範囲

1. 緩衝装置が取り付けられる部材の振動運動を減衰させるのに使用する緩衝装置（108）であって、

側部および端部を有する容器（112）と、

前記端部間で振動するように前記容器内に配置された質量塊（110）と、

端部および前記質量塊に連結され、質量塊を中心の休止位置に位置決めするためのばね手段（156、186）とを備え、ばね手段の剛性と質量塊のサイズが所望の所定振動数で振動するように選ばれた緩衝装置において、

容器の各端部に1つずつ取り付けられ、それぞれ所定の剛性の予圧ばね（156、186）を含む、第1および第2の蛇腹（150、180）と、

予圧ばねを取り外して、異なる剛性の別の予圧ばね（156、186）と交換し、それによって緩衝装置および前記部材の減衰特性を変化させることができる、各蛇腹の端部を密封する着脱可能な手段（146、172）と
を有すること特徴とする緩衝装置。

2. 外表面を有する質量塊（10、110）と、内表面を有する容器（12、112）とを備え、質量塊が前記容器内で振動する装置であって、

質量塊の外周の周囲の質量塊（112）の表面内に形成された複数の溝（122から128）と、

各溝内に1つずつ置かれ、容器内で質量塊の低摩擦振動を可能にするために容器の内表面を支承する複数のボール（132から138）と

を含む、前記質量塊と前記容器との間の摩擦を最小化する手段を特徴とする装置

。

3. 容器の内部へ流体を導入することができるようとするための貫通穴（36）を有する第1端部を有する容器を形成する、内表面と、制限された流体の流れを可能にするための貫通穴（48）を有する第2端部とを有する中空シリンダ（12）と、

温度変化による流体の膨張に適応するために、容器の内部からの流体が穴を通過して蛇腹の内部まで流れることができるように、内部を有し第2端部に耐密可能に取り付けられた蛇腹(40)と、

第1および第2端部と、シリンダ(12)の内表面より若干小さい外表面とを有する質量塊(10)と、

容器内の第1方向および反対方向にのみ質量塊の振動運動を可能にするために第1端部に質量塊(10)を取り付けるばね手段(30)と
を備える緩衝装置(8)。